

小学校部会 授業研究会の記録

記録者 日南市立飴肥小学校 黒木 勇樹

【授業者ふりかえり】

発表者	内容
住吉小学校 東先生	【5年 体づくり運動】 ○ 「できた」「できない」ではなく、動きが高まることを意識させた。 ○ 「工夫」というのは、課題を見つけることだと考えている。
生目台東小学校 谷口先生	【5年 保健】 ○ 最後に、地域の写真を使用した。いかに自分たちの地域のことを考えさせるかを考えた。 ○ ビデオメッセージは、自分たちに身近なことだと感じてほしくて、使用した。

【質疑応答】

<p>【5年 体づくり運動】</p> <p>Q. 小戸小・岩下： ポイントを意識して評価に取り入れているが、どのようなものがAなのか。</p> <p>A. 子どもたちが、「タイミングやリズムなど、こういうものを取り入れたらいいよね」など、ポイントを取り入れて、それを表現できる児童はA。ポイントを理解できている児童はB。ポイントを理解できず、動きを高めることができなかった児童がC。</p> <p>Q. 延岡西小・柴田： モデルなく指示を出したら迷いなく動いていたが、事前の指導があったのか。</p> <p>A. 目印となる動きがあったので、子どもたちは動けたのではないか。</p> <p>Q. 潮見小・黒木： レーダーチャートに数字を入れた目的は何か？</p> <p>A. 5年生では、体力の要素を学ぶ初めての単元となる。児童の理解を助けるためにチャートに指標を取り入れている。6年生では、5年で学習したことを生かし、授業を進めるため、より、主観的な評価をしてもらおうと考え、チャートの指標を入れていない。</p> <p>Q. 八代小・桐山：長縄+他の運動をしていた。自分に必要な物はどこから選んだのか。</p> <p>A. 前時で行った運動で選ばせた。今までの授業の中で、やってみたいものが多かったように思う。</p>
--

【 保健 】

- Q. 小松台小・杉田： ワークシートが違ったが、その意図は。
- A. 公園の2つの絵を同時に出すと、危険なものが一目でわかってしまうので、児童に考えさせるために分けた。ワークシートも簡潔になる。

【全体協議】体づくり運動の学習

体づくり運動を通して考える「主体的・対話的で深い学び」を促す体育授業の在り方

- サーキット運動の中で、どんな動きが高まったか明言するとよい。具体的なことを伝える。
- 思考から実践、実践から思考という展開でもよかった。
- 「高まった」というのが客観的に評価しづらい。基準があるとよい。
- 個人の課題・工夫・意識とグループの課題・工夫・意識の整合性はどうするか。レーダーチャートをどう使用するか。授業前が適当なのか、授業後が適当なのか？
- 児童から何が高まったのか出づらい。「道具を2つ使用してこういうタイミングでつくると高まっているよ」など、具合的なイメージがあるとよい。